

特別支援教育における 校内支援体制を考える

～ 子どもと保育者・教員を支える組織づくり～

2017年

8月18日(金)

10:30～15:30(受付開始 9:45～)

定員 75名(先着順)

※定員に達し次第切替と致します。

参加料 5,000円

※全体講演会または、分科会のいずれかのみ参加の場合も同一料金となります。

会場 星美学園短期大学

※昼食は各自でご用意ください。
学食はございません。

本学までの
アクセスはこちら



全体講演会 10:30～12:00

個のニーズを 支える学校

～個々の教育ニーズに向き合う学校づくりのために～

講師 服部 純一

(日伊総合研究所・客員研究員/DRM発達支援教育研究所主宰)

発達障がい児本人や保護者が、満足感や充足感をもって学校生活を送れ、生きる力を獲得できる学習のために、どのようなことが「支援」になるのかを考えます。特別な教育ニーズ支援で、全ての子ども達が充実感の持てる「ユニバーサルな学校」を創りましょう。

分科会

13:00～15:30

各定員25名 分科会はいずれか一つをお選びください(同時刻開催)。

分科会Ⅰ(幼稚園・保育所)

幼稚園・保育所の 園内体制

～子ども・保護者とよりよい関係を作る～

講師 遠藤 愛

(星美学園短期大学准教授)

①統合保育を実践する際、保育者同士が協力して保育にあたる体制をどう作るのか。

②児童の成長を共に願う存在として、園が保護者とどう協力関係を築いていくのか、実践事例を紹介しながら協議します。

分科会Ⅱ(小学校)

支援を共に 考えよう!

～子どもの育ちを支える支援ミーティング～

講師 若井 広太郎

(筑波大学附属大塚特別支援学校・支援部)

「インクルーシブ教育システム構築支援データベース(インクルDB)」の支援事例を参考にしながら、子どもの育ちを支えるための支援の目標や方法について、一緒に考えてみませんか?ご参加をお待ちしております。

分科会Ⅲ(中学・高校)

多様な生徒の 支援について

～高等学校における特別支援教育の実際～

講師 萩原 明子

(茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校 教頭)

不登校や発達障がいなど配慮の必要な生徒のためにどのような支援ができるのでしょうか。高校現場の校内支援体制・ユニバーサルデザインの授業・就職や進学に向けての取り組みについて紹介します。

主催

星美学園短期大学 日伊総合研究所公開講座センター

後援

埼玉県教育委員会 東京都北区教育委員会